横浜国立大学・国立環境研究所Global COEプログラム
「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」最終シンポジウム

「ほどほど」で読み解く生態リスク

趣旨：わがCOEでは、2002年からの21世紀COE、2007年からのG-COEを通じて、化学物質と生態系管理の分野で先端的にリスク管理を進めてきました。私たちは「アジア視点」を標榜し、リスクをゼロにするのではなく、経済発展と調和した「ほどほど」のリスク管理の具体的理念と手法を提案してきました。その10年間の成果を紹介します。皆様のご参加をお待ちしています。

2012年4月21日（土）13:00-17:10　横浜国立大学教育文化ホール

アクセスhttp://www.ynu.ac.jp/access/index.html

プログラム

13:00　開会挨拶：鈴木邦雄学長
13:10　藤江幸一：アジア視点の循環型社会
13:40　益永茂樹：化学物質リスク管理の成功と課題
14:10　及川敬貴：規範としての生物多様性―基本法時代の地域資源ガバナンス
14:50　休憩
15:10　金子信博：土地利用の持続可能性と生物多様性
15:40　五箇公一：外来生物法5年間の歩みとこれから
16:10　パネル討論：「ほどほど」で読み解く生態リスクとは（司会：松田裕之）
外部評価委員コメントほか
17:00　閉会挨拶：川本克也（国立環境研究所）
17:30　懇親会　横浜国大れんが館（予定）
※プログラムは変更する場合もございます。

なお、参加者には生態リスクGCOEの最終成果報告書（並びに以前のシンポジウム記録など）を配布します。また、会場にて小池・金子・松田・茂岡編（2012）生態系の暮らし方：アジア視点の環境リスク-マネジメント．東海大学出版会　を著者割引（2352円）にて販売します。

参加費：無料

お問合わせ先：

横浜国立大学4.21シンポジウム事務局（関口）　Email　er-coe3@ynu.ac.jp Tel. 045-339-4379